

## 「ハーモニカ横丁」と井の頭公園

「小さな散歩」という番組で東京・吉祥寺の「ハーモニカ横丁」を取り上げていた。吉祥寺北口に降り立ち、駅前のよく目立つ黄色の看板を目ざした。あるサイトによると、楽器のハーモニカのように小さい間口の店が密集していたことから名付けられたという。朝早く行ったので、残念ながら店の多くは閉まっていたが、雰囲気だけは味わえた。昭和の時代を感じさせる店も多く、なんだかハーモニカの音色が聞こえてきそうな懐かしい空気に浸れそうな横丁の商店街であった。



ハーモニカ横丁から井の頭公園に向かった。ここも前から訪ねてみたかった。公園の案内によると、正式には「井の頭恩賜公園」というそうで、大正2年に日本最初の郊外公園として決定され、

計画的に整備されてきた。三代将軍徳川家光が命名したと言われる井の頭池は初めて江戸にひかれた



水道、神田上水の源である。かつては杉の水源涵養林が池の水面をおおい、美しい風景をつくり出していたという。現在でも、なかなか美しい景観を保っており、池の周りを散策する人が多かった。雑木林のもとでは、たくさんのグループが稽古に励んだりしていた。都民の憩いの場として活用されているようであった。東京郊外の「小さな旅」を味わいながら、京王井の頭線に乗って下北沢に向かった。

(2009年12月31日 記)